

基本目標1 心がつながり、健康と安心を実感できるまちづくり

- ◆ あらゆる世代の人の生活の質(QOL※)の向上と、健康寿命の延伸が図れるように、地域活動や就労、スポーツなどを通じた生きがいがづくりや、介護・疾病予防活動等のエイジフレンドリーシティ※の取組などを推進します。
- ◆ すべての人にやさしい安全で快適な道路環境やバリアフリー※化などによる交通環境の整備を推進します。
- ◆ 地域の特性に応じた公共交通や新たな移動手段の確保により、誰もが移動しやすい環境づくりに取り組みます。
- ◆ 「支え手」「受け手」という関係性を越えて、誰もが主体的に参画できる地域社会づくりを推進します。
- ◆ 社会的な孤立を防ぎ、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるように、関係機関における制度・分野の横断的な連携を強化し、一生涯を支える切れ目のない支援体制づくりに取り組みます。
- ◆ 災害や感染症の蔓延(まん)延に備え、自助・共助の体制づくりの支援に取り組みます。

【基本目標】	【基本的方向】	【具体的施策】	【関連する総合計画の施策】
【基本目標1】 心がつながり、健康と安心を実感できるまちづくり	(1)安全で安心、快適な暮らしの提供	①地域の健康づくりの推進	3 [1] 健康・医療(1)健康意識の向上とライフステージ*に応じた健康づくりの推進 3 [3] 高齢者福祉(1)高齢者が自分らしくいきいきと暮らせる環境づくり 3 [3] 高齢者福祉(2)望む場所で安心して暮らせる体制づくり 4 [3] 社会教育(2)スポーツに親しむ環境づくりの推進
		②災害・犯罪に強いまちづくりの推進	2 [1] 危機管理・防災・消防(2)自助・共助の体制づくり 2 [1] 危機管理・防災・消防(3)消防・救急体制の充実 2 [2] 防犯・交通安全(1)防犯対策の推進 3 [2] 地域福祉(2)包括的な相談支援体制づくり
	(2)地域を支える基盤の整備	①全ての人にやさしい、安全で快適な道路等環境の整備	2 [2] 防犯・交通安全(2)交通安全対策の推進 2 [6] 道路・交通(1)計画的、効率的な道路整備の推進 2 [6] 道路・交通(4)すべての人にやさしい安全で快適な道路環境づくりの推進
		②誰もが移動しやすい公共交通の整備	2 [6] 道路・交通(2)公共交通の利便性の向上と、新たな移動手段の検討
	(3)誰もが主体的に地域社会に参画でき、いきいきと暮らせるまち	①多様な居場所づくりや支え合う仕組みづくり	3 [2] 地域福祉(1)多文化・共生型の地域づくり 3 [3] 高齢者福祉(1)高齢者が自分らしくいきいきと暮らせる環境づくり 3 [3] 高齢者福祉(2)望む場所で安心して暮らせる体制づくり 4 [3] 社会教育(1)生涯を通じて学ぶことのできる環境の充実
		②豊かな地域社会づくりに向けた地域自治の確立	1 [1] 市民自治・協働(1)市民自治*の基盤となる地域自治の確立 1 [1] 市民自治・協働(2)様々な市民活動の充実 1 [1] 市民自治・協働(3)市民と行政の協働の推進

<指標の達成状況>

NO.	指標	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	健康寿命	歳	男性:81.16 女性:84.51	-	男性:81.53 女性:85.24				男性:82.16 女性:85.51	目標値には達していないが、前回のH27年調査時より長くなっている。個人の健康意識の向上や医療環境の充実等が影響していると考えられる。	健康推進室
2	「とても幸せ、幸せ」と回答した人の割合(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	%	67.0	-	-				基準値以上	3年ごとの調査のため、次回調査結果はR5年度に判明する。	安心ネットワーク推進室
3	「引き続き宝塚市内に住み続けたい」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	77.1	72.5	-				79.8%以上	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。課題である若年層の居住については30歳以上40歳未満は転入超過となっているが、20代は転出超過となっている。	政策室

<KPIの達成状況>

基本的方向(1) 安全で安心、快適な暮らしの提供											担当室
具体的施策① 地域の健康づくりの推進											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	「意識的に健康づくりに取り組んでいる」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	52.5	53.8	-				57.5%以上	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	健康推進室
2	国民健康保険特定健康診査受診率	%	37.4	36.3	37.4				60.0	目標値には達していないが、R3年度から1.1ポイント増加した。コロナ禍による健診の受診控えは続いているが、未受診者への電話勧奨等の成果が出ていると考えられる。	健康推進室
3	65歳以上の要支援の認定率	%	7.0	6.8	7.0				7.8%以下	目標は達成した。推計では認定率は年々上昇する傾向にある。	安心ネットワーク推進室
4	「週1回以上スポーツに取り組んでいる」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	35.4	35.7	(調査なし)				38.0	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	生涯学習室
具体的施策② 災害・犯罪に強いまちづくりの推進											担当室
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	災害時要援護者避難支援組織数	組織	48	50	52				基準値以上	地域への説明会を多く開く等により制度について周知し、2団体が新たに避難支援組織となり計52団体となった。	安心ネットワーク推進室
2	「日頃から災害に対する備えをしている」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	48.9	50.0	-				50.0	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	危機管理室
3	安心メール、ひょうご防災ネットアプリの登録者数	人	27,869	38,799	41,376				33,000	新規登録の促進を行った結果、順調に登録者を増加させることができた。	危機管理室

4	犯罪発生件数	件	856	756	819				814	達成。犯罪発生件数は前年度より増加したがR4目標値(839)は達成した。	生活安全室
基本的方向(2) 地域を支える基盤の整備											
具体的施策① すべての人にやさしい、安全で快適な道路等環境の整備											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	「道路環境の整備ができています」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	新規	9.8	-				基準値以上	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	建設室
2	都市計画道路整備率	%	72.8	73.0	73.2				74.1	荒地西山線及び競馬場高丸線の整備事業について、概ね順調に推移した。	建設室
3	交通事故(人身事故)発生件数	件	416	434	351				396	達成。阪神間各市も全て前年度より減少。	生活安全室
4	交通安全教室、講習会、啓発活動回数	回	155	78	90				161	未達成。前年度より増加したがコロナ禍の影響を受けて達成できず。	生活安全室
具体的施策② 誰もが移動しやすい公共交通の整備											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	公共交通の利用者数	人	258,582	205,165	213,298				259,877	R3実績値はコロナ禍の影響により減少したが、R4実績値は回復に転じた。	建設室
2	ノンステップバスの導入率	%	71.6	71.6	83.1				88.1	新たなノンステップバスの購入はなかったが、営業所間での車両の移動に伴い、当初の指標は達成されたため、より高い目標値への修正を図る。	建設室
基本的方向(3) 誰もが主体的に地域社会に参画でき、いきいきと暮らせるまち											
具体的施策① 多様な居場所づくりや支え合う仕組みづくり											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	市内のサロン等の居場所数	箇所	197	202	205				基準値以上	新型コロナウイルス感染症の影響により廃止のサロンもあったが、9つの新規サロンが立ち上がるなど、集いの場の活気は戻りつつある。	安心ネットワーク推進室
2	見守り、支え合い活動に取り組む活動グループ数	グループ	155	174	175				基準値以上	自治会の解散で活動母体なくなるなど多少の増減はあるが現状維持。民生委員・児童委員の一斉改選の際には丁寧な声かけを行い活動の維持を支援した。	安心ネットワーク推進室
3	公民館利用者数	人	374,895	227,523	307,743				390,000	実績値は西公民館の休館や、コロナ禍での公民館利用制限などもあり参考値となると考える。そのような状況下でも、公民館の機能と役割において、一定利用者があった点において評価する。	生涯学習室
4	市立中央図書館、西図書館の来館者数	人	新規	111,432	530,010				基準値以上	中央図書館は323,956人、西図書館は空調工事のため4・5月に休館していたため、206,054人だった。西図書館の休館がなければ目標に近い数値だったと考えられる。コロナ禍後の利用者拡大に備え、図書館の施設保全と催事開催など活用に引き続き努める	生涯学習室
具体的施策② 豊かな地域社会づくりに向けた地域自治の確立											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	地域ごとのまちづくり計画において達成又は順調に進んでいる取組の割合	%	新規	68.0	77.2				80.0	R5年6月14日時点で18組織から報告済。各まちづくり協議会が感染症対策をとりつつ工夫しながら活動され、前年度を上回った。	きずなづくり室
2	「協働の取組への意向を持っている」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	12.9	19.3	-				25.0	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	きずなづくり室

<評価>

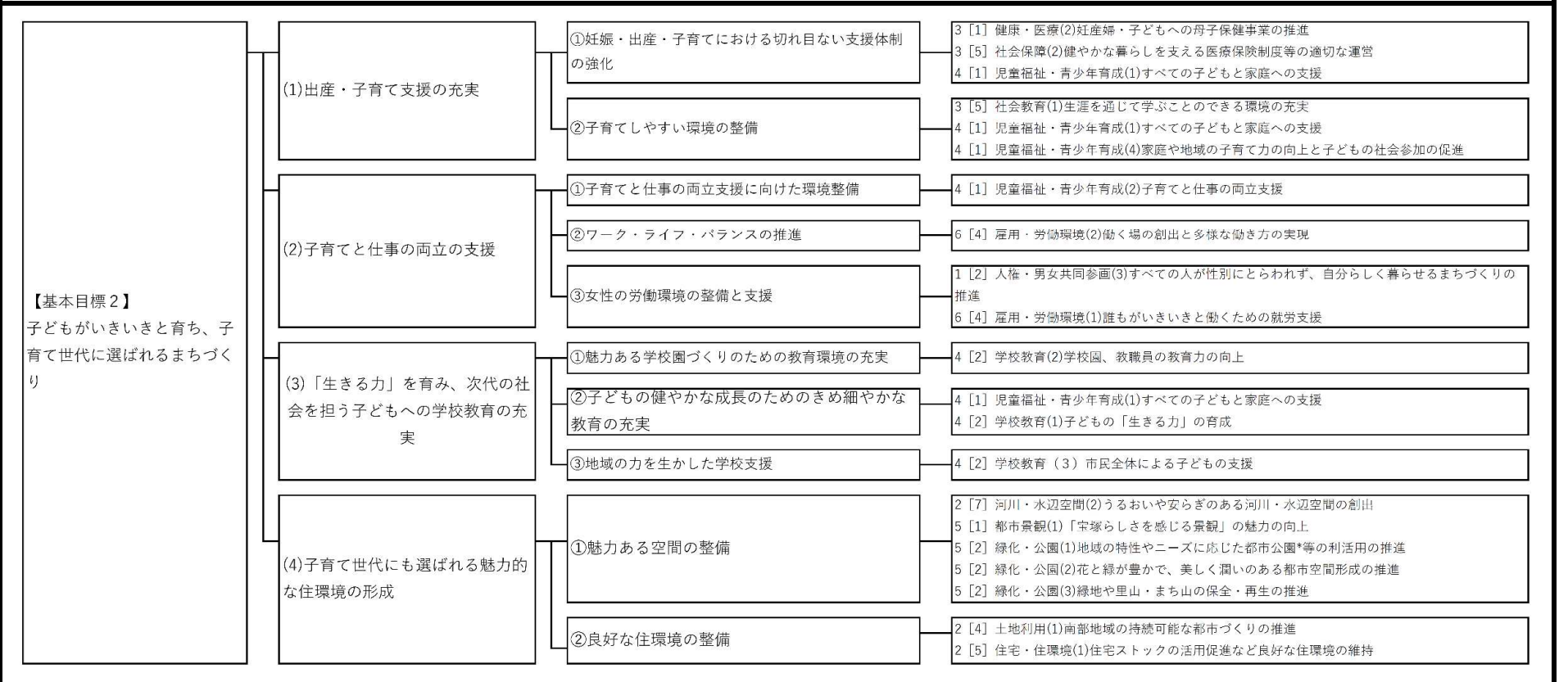
<b>自己評価(指標、KPIの達成状況を踏まえたうえで評価してください)</b>	
<b>【基本目標の実現に効果があった取組(5つ程度)とその成果】</b>	
<p>新型コロナウイルス感染症は、昨年度も何度か流行の波はあったが、治療法の進歩やワクチン接種が進んだこと、感染力は強いが若い世代では重症化する割合が減少したことなどから、感染対策は継続しながらも、緩やかに人々の意識に変化が見られ、人流が戻りつつある。結果として、公民館利用者、図書館利用者、公共交通利用者等は前年度より増加しており、人々の居場所づくりや、人と人のつながり、支え合う仕組みづくりについては取組が進んでいると思われる。</p> <p>また、昨年度減少していた国民健康保険特定健康診査受診率についても、令和2年度とほぼ同じレベルに回復しており、少しずつコロナ前の実績に戻りつつある。</p> <p>なお、人流は戻ってきているが、犯罪発生件数は増加したものの令和2年よりは少なく、災害時要援護者支援組織は増加、また安心メールの登録者数も増加している。交通事故件数も減少しており、安全な道路環境や、災害、犯罪に強いまちづくりは推進できている。</p>	
<b>【今後の課題と改善策】</b>	
<p>本年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行し、経済や社会活動は回復傾向にはあるものの、まだコロナ前のにぎわいが戻っているとは言えないこと、またコロナにより新しい生活スタイルが定着し、例えばデジタルの活用が進んだことなどから、それぞれの事業において、よりICT化など、多様なニーズに対応していく取組を意識する必要がある。</p> <p>それぞれの事業を着実に進めるとともに、変化するニーズや、新しいライフスタイルにマッチするサービスが提供できるよう、小さな工夫、変革を柔軟に取り入れていく必要がある。</p>	

外部評価

令和5年度外部評価対象外

基本目標2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり

- ◆ 未来を担う子どもがたくさん遊びや学びを経験し、将来の夢や希望を持って、心豊かにいきいきと育つ環境づくりを子どもの権利を尊重する視点に立って推進します。
- ◆ 地域社会全体の子育て意識を向上させ、安心して子どもを産み、楽しく子育てできる環境づくりを推進するとともに、配慮が必要な子どもと家庭への支援や貧困対策、仕事の両立支援などに妊娠前から切れ目なく取り組みます。
- ◆ 子育て世代にも選ばれる魅力的な住環境の形成に取り組みます。
- ◆ 家庭や地域と連携しながら、子どもの「生きる力」を育成するとともに、学校園、教職員の教育力の向上を図り、各学校園の特色ある教育やICT※環境をはじめとする教育環境の充実に取り組みます。



<指標の達成状況>

NO.	指標	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	25～39歳の転入超過数	人/年	145	-213	-97				280人/年	人流が戻りつつあるため、若干好転したが指標達成には届いていない。また、0～19歳では+246、30～49歳では+170の転入超過となっており、子育て世代は増加している。	政策室
2	合計特殊出生率	—	1.27	1.36	1.24				1.41	昨年と同様に対象年齢の女性人口が減(▲2.8%)となったが、昨年よりも出生児の減少率(▲4.4%)が高かったため、合計特殊出生率を下げることとなった。	政策室
3	「宝塚市は子育てをしやすいまちだと思う」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	49.7	49.9	-				基準値以上	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	子ども家庭室

<KPIの達成状況>

基本的方向(1) 出産・子育て支援の充実											
具体的施策① 妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援体制の強化											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	「地域全体で子どもの育成に取り組んでいると思う」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	29.1	32.6	-				33.5	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	子ども家庭室
2	乳幼児健診受診率	%	4か月児 98.1% 10か月児 96.4% 1歳6か月児 97.5% 3歳児 95.8%	4か月児 96.6 10か月児 96.4 1歳6か月児 96.1 3歳児 95.1	4か月児 99.5 10か月児 96.5 1歳6か月児 98.4 3歳児 95.0				4か月児 維持 10か月児 98.0% 1歳6か月児 維持 3歳児 維持	4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診の受診率はR3年度より増加し、3歳児健診はR3年度とほぼ同じである。個別通知や予約制、健診会場での相談や子育て情報の提供などを通じて、安心して受けていただける健診として認知されているものとする。	健康推進室
具体的施策② 子育てしやすい環境の整備											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	「地域全体で子どもの育成に取り組んでいると思う」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	29.1	32.6	-				33.5	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	子ども家庭室
2	ファミリーサポートセンター会員登録数	人	1,981	2,010	2,048				2,000人以上	市広報誌や各公共施設へのチラシの設置などにより制度の周知を図った結果、目標を達成することができた。	子ども家庭室
3	社会教育施設における子どもや子育て世代向けの事業の参加者数	人	4,817	2,166	4,706				基準値以上	コロナ禍の不安感が薄らぐなか、子ども、親子を対象とした社会教育事業への参加、学習意欲の向上がみられる。西図書館の大規模改修のため、年度前半一時閉館した影響はあるが、前年度を上回っており回復基調である。	生涯学習室

基本的方向(2) 子育てと仕事の両立の支援											
具体的施策① 子育てと仕事の両立支援に向けた環境整備										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	保育施設の待機児童数	人	141	58	0				0	認可保育所分園の整備や緊急枠増などにより、115人分の受入枠拡充を図った結果、待機児童は0人となった。	子ども育成室
2	放課後児童健全育成事業の低学年の待機児童数	人	51	27	96				0	民間放課後児童クラブの対象校区の変更などで定員の調整を行ったものの、校区によっては想定を上回る入所の申し込みがあったため、目標を達成できなかった。	子ども育成室
具体的施策② ワーク・ライフ・バランスの推進											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	有給休暇を80%以上取得している人の割合(市労働実態調査)	%	20.3	20.3	20.3				-	労働実態調査を令和6年度に予定しているため、令和4年度実績は基準値とした。	産業振興室
2	「ワーク・ライフ・バランス※がとれている」と回答した市民の割合(市労働実態調査)	%	新規	-	-				-	令和6年度に予定している労働実態調査の結果から記載する。	産業振興室
具体的施策③ 女性の労働環境の整備と支援											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	「社会における男女の機会均等が図られていると思う」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	34.6	37.8	-				50.0	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	人権平和室
2	女性のM字カーブ世代の労働力率	%	64.5	64.5	71.1				-	令和2年実施の国勢調査の結果による。前回調査時に比し大幅に上昇している。働き方改革等社会情勢の変化によるものと推察する。	産業振興室
基本的方向(3) 「生きる力」を育み、次代の社会を担う子どもへの学校教育の充実											
具体的施策① 魅力ある学校園づくりのための教育環境の充実										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	「授業が楽しく、よくわかるようになった」と回答した児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	%	82.0	92.2	-				85.0	今年度調査項目なし	学校教育室
2	中学生における一人当たりの年間図書貸出冊数	冊/年	10.8	8.7	11.1				12.0	新型コロナウイルス感染拡大の影響により学校図書館利用を制限せざるを得ない状況であったが、感染対策を取りながら利用推進に取り組んだため、令和3年度よりも貸出冊数を伸ばした。	学校教育室
3	保幼小中合同研修会において「理解できた」と回答した教職員の割合	%	68.0	69.5	97.0				75.0	達成。現場の抱える課題や、教職員のニーズに応じた研修内容にすることで、一人一人の教職員がより意欲的に参加し学ぶことができた。	学校教育室
4	就学前研修において「理解できた」と回答した幼稚園教諭・保育士の割合	%	80.0	89.0	99.5				83.0	達成。就学前教育が抱える課題解決について、共に学び合うことができた。	学校教育室
具体的施策② 子どもの健やかな成長のためのきめ細やかな教育の充実											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	子どもの心を理解する講座で「満足した」と回答した参加者の割合	%	90.0	コロナ対策のため未実施	91.0				90.0	達成: 発達に課題を抱えた子どもの保護者のニーズに合った内容であったこと。先生の経験や参加者の質問に答える形でとても分かりやすい内容であったため。	教育支援室
2	「宝塚市立の小・中学校の基礎・基本的な学力の定着への取組ができていると思う」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	8.7	9.8	-				基準値以上	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	学校教育室
3	「授業で学んだことを他の学習に生かしていると思う」と回答した生徒の割合(全国学力・学習状況調査(中学校))	%	63.6	47.8	54.1				基準値以上	コロナ禍で学習形態が制限されていたこともあり、体験的な授業や教育活動が十分に行えていない。	学校教育室
4	スクールサポーターの配置率	%	90.6	100.0	100.0				基準値以上	今後も全校配置を継続するとともに、年間活動率の増加を目指す。	学校教育室
具体的施策③ 地域の力を生かした学校支援											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	「子ども、保護者、地域のニーズに対する教育行政の取組ができていると思う」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	7.3	8.9	-				基準値以上	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	学校教育室
2	「保護者や地域の人との協働による取組が学校の教育水準の向上に効果があったと思う」と回答した中学校の割合(全国学力・学習状況調査)	%	83.3	58.3	66.7				基準値以上	令和4年度に全校でコミュニティスクールを導入できたことで前年度より数字は上がっているが、コロナ禍の影響もあり外部人材の活用ができていない。	学校教育室
3	「地域全体で子どもの育成に取り組んでいると思う」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	29.1	32.6	-				30.0	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	学校教育室

4	学校支援ボランティアの活動回数	回	6,882	7,606	8,079				7,000	新型コロナウイルスの影響により学校によっては活動の制限等があったが、昨年度より活動回数は増えている。	学校教育室
基本的方向(4) 子育て世代にも選ばれる魅力的な住環境の形成											
具体的施策① 魅力ある空間の整備											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	公園アドプト制度により市民団体などが管理する公園数	箇所	61	64	65				67	達成。アドプト公園を対象にした地域ニーズにあった公園整備が可能な公園リノベーション事業が好評なため。	生活安全室
2	市民一人当たりの公園面積	m <sup>2</sup>	5.1	5.2	5.3				5.5	達成。昨年度より1公園増加したが、人口減少(約1,500人減)も要因である。	生活安全室
3	違反広告物の除却枚数	枚	2,216	2,004	1,448				1,884	デジタル広告への移行による違反広告物の減少という外的要因もあるが、委託による4回/月の簡易除却の実施も相まって早期に目標を達成した。	都市整備室
具体的施策② 良好な住環境の整備											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	市街化区域の面積	ha	2,605	2,605	2,605				2,605	都市のスプロール化を防ぐため、都市計画に係る各種計画に基づいて現状の区域区分を引き続き堅持する。	都市整備室
2	住宅の耐震化率	%	88.4	93.1	93.4				95.0	耐震性の低い住宅の除却が例年に比べ少なかったことに加え、耐震改修工事(補助)の実績も少なかったため、耐震化率の伸びが少し鈍化している。	建築住宅室

<評価>

### 自己評価(指標、KPIの達成状況を踏まえたうえで評価してください)

#### 【基本目標の実現に効果があった取組(5つ程度)とその成果】

乳幼児健診の受診率は変わらず高い水準を維持できており、ファミリーサポートセンターの会員数も伸びている。一方で合計特殊出生率は減少し、国平均、県平均ともに下回る結果とはなったが、19歳以下の人口は転入超過となった。社会教育施設における子どもや子育て世代を対象とした事業の参加者数も大きく伸びており、コミュニティスクールの効果も数字に表れている。

住環境においては公園面積や、市民団体が管理する公園の増など、市民とともに取り組むまちづくりが進んでいる。公園の積極的な活用、ニーズに合わせた再整備に向けてパークマネジメント計画の策定に着手した。住宅の耐震化率についても、少しずつではあるが着実に向上している。

教育においては、小学5年生を対象とした自己表現力向上事業により、演劇を取り入れた授業を行い、非認知能力の向上につながった。また、また、別室登校を全中学校12校中11校で実施しているほか、スクールロイヤーの導入により、子どもの利益を最優先にする体制を構築した。

妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援体制の強化を目的として、令和5年2月に「たからっ子総合相談センター“あのね”」を開設し、妊産婦及び0歳から18歳までの子どもとその家族の子育て、子どもの発達、学校生活のことなど様々な相談に応じている。「たからっ子総合相談センター“あのね”」は、健康センターに続いて2か所目の子育て世代包括支援センターとしての機能を担っている。また、きらきら子育てLINEを導入し子育ての情報発信を強化した。認可保育所の整備等による受入枠の拡充の結果、待機児童数は令和4年度に0を達成し、令和5年度も引き続き0を継続している。

今後も、子どもへの施策だけでなく、良好な住環境の整備など、子育て世代に選ばれる施策の推進が必要である。

#### 【今後の課題と改善策】

妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援の一環として、妊産婦、乳幼児やその家族に対する支援策を検討、強化することが必要である。また、令和6年度のこども家庭センターの設置に向けて、児童福祉と母子保健の一体的支援のあり方を検討する必要がある。

保育所の待機児童が解消された一方で、放課後児童クラブの低学年待機児童が増えており、小学校就学時に子どもを預ける先に困るいわゆる小1の壁への対応が課題である。女性のM字カーブ世代の労働力率は増加しており、当該年代の働く意欲は増加している。今後、子どもへの施策とともに、子どもを育てる親のキャリア形成や、多様な働き方の実現に向けた取組が必要である。

### 外部評価

#### 【基本的方向1】

○取組の結果として以下説明があった。

- ・「たからっ子総合相談センター“あのね”」を開設し、子ども家庭総合支援拠点の整備を実現し、家庭支援・相談の充実が図られている。
- ・子ども家庭総合支援拠点運営協議会を立ち上げ、庁内連携の推進を進められている。
- ・きらきら子育てメールをLINEでの情報発信に切り替え、情報発信の強化に努めている。
- ・乳幼児健診の受診率は、高水準を維持できている。

○以下のような課題や意見が付された。

- ・子育て世代でない回答者が過半数を占める市民アンケートの結果を成果指標に設定することには疑問であり、市の直接的な事業成果が測れるような指標となるべき。
- ・商工会議所等を通じて民間事業者と連携を取り、子育てしやすい労働環境の啓発に努めてはどうか。
- ・乳幼児健診の受診率は数値だけでなく、尽力して取り組んでいる内容が見えるように説明の充実を望む。
- ・ファミリーサポートセンターの会員登録数の指標については、登録者のニーズに対して、必要な支援を行える援助会員が少なく利用につながらないという実態があるため、検討が必要。

#### 【基本的方向2】

○取組の結果として以下説明があった。

- ・認可保育所の整備による定員の増、受け入れ枠の拡充により、保育施設の待機児童数については、0人となっており最終目標を達成できている。

○以下のような課題や意見が付された。

- ・市内事業者の男女別の育児休業取得率などを調査し、指標化を検討してはどうか。
- ・子育て世代の実態について調査、分析を行い、より明確なターゲットングを行った上での施策展開を期待する。
- ・KPIの目標設定、中間年度目標設定がされていないものについては整理が必要。
- ・M字カーブの世代の労働力率については、正規雇用か、非正規雇用かという区分分けが必要。

【基本的方向3】

○取組の結果として以下説明があった。

- ・自己表現力向上事業では、市内の小学校5、6年生の児童約1,700名が参加し、平田オリザ氏を中心とした劇団員を外部講師として演劇手法を用いた先進的なコミュニケーション教育に取り組んでいる。
- ・学校内で自由に過ごせるフリースクールを12校中11校で実施しており、学校に登校しにくい子どもたちが過ごせる居場所づくりが進んでいる。
- ・3名のスクールロイヤー(弁護士)を配置し、どうすれば子どもが一番幸せな状況になるかという観点で意見、指導を仰ぎ、子どもを中心に考えた教育環境の実現に努めている。
- ・保幼小中合同研修会において「理解できた」と回答した教職員の割合が非常に高く評価に値する。

○以下のような課題や意見が付された。

- ・全国学力・学習状況調査の結果と、本施策の成果のつながりが不明確な部分がある。コミュニティスクールの充実など市の成果が測れる指標が望ましい。

【基本的方向4】

○取組の結果として以下説明があった。

- ・パークマネジメント計画を策定し、民間活力の導入等これからの市民ニーズに合った公園整備を進められようとしている。
- ・まちづくり協議会等、宝塚市の地域力の高さを生かして地域と協働による地域の特色を生かした公園整備が進められようとしている。
- ・文化芸術センターは文化施設と都市公園が融合した先進的な取組となっている。

○以下のような課題や意見が付された。

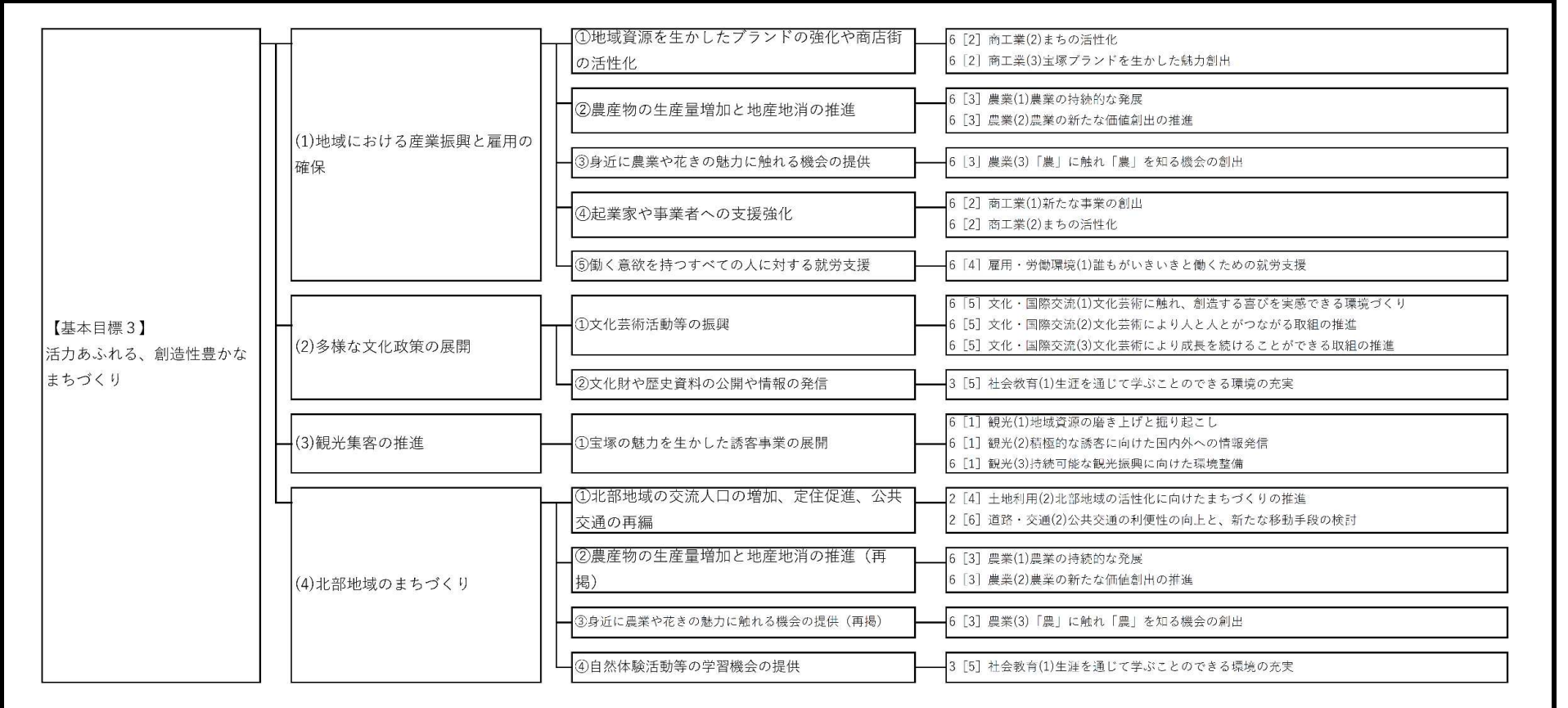
- ・公園アドプト制度など市民が主体となった公園管理が進んでいる。
- ・KPI(市街化面積)について、設定理由、効果等分かりやすい説明が必要。
- ・KPIの目標値が関連計画と異なっている。

【全体について】

- ・KGIの25～39歳の転入超過数については、現在の社会情勢等を鑑みると20歳～49歳が妥当ではないか。
- ・合計特殊出生率は施策のKGIとしては妥当ではない。18歳までの人口比率等の方が妥当と考えられる。

基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり

- ◆ イノベーション※を創出する事業者の育成や事業者・支援機関・市民との交流・連携、魅力的な資源の情報発信など、創造性豊かなまちの実現に向けた取組を推進します。
- ◆ 観光や商工業、農業などの振興による働く場の創出と、ライフスタイルに応じた多様な働き方を推進します。
- ◆ 女性が自らの希望によって多様な働き方を選択でき、輝ける社会の実現に向けた取組を推進します。
- ◆ 誰もがいつでも文化芸術に触れ、楽しめる環境づくりや、観光や商工業、農業、福祉、教育などの関連分野との連携により、文化芸術を公共的なまちの課題解決に生かす取組など、文化芸術であふれるまちの実現に向けた取組を推進します。
- ◆ 感染症が蔓延(まん)延しても、地域経済の再生に向けた対策を推進するとともに、デジタル技術の導入などにより産業の競争力やリスク対応力の向上を推進します。



<指標の達成状況>

NO.	指標	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	観光消費額	百万円	87,755	61,780	未確定				89,065	※毎年10月頃県から発表されるため、未確定。	宝のまち創造室
2	市内従業者数	人	54,498	54,498	54,498				63,400	実績は経済センサス活動調査(令和3年度に実施)による把握となり、当該調査結果が未公表のため令和4年度は現状値を実績とした。調査結果が公表され次第、実績値を更新する。	産業振興室
3	「「宝塚」が持つ魅力の市内外への情報発信ができていていると思う」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	15.4	14.9	-				25%以上	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	宝のまち創造室

<KPIの達成状況>

基本的方向(1) 地域における産業振興と雇用の確保											
具体的施策① 地域資源を生かしたブランドの強化や商店街の活性化											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	市内で商品・サービス等の提供を受けたいと思った方の割合	%	新規	97.0	95.0				-	昨年度実施した「モノ・コト・バ宝塚」の読者へのアンケートでは、95%が提供を受けたいとの回答であった。	産業振興室
2	「モノ・コト・バ宝塚」選定資源数	件	156	175	172				-	選定は現状隔年となっており、R4は未実施。事業者にアンケートを実施した結果、事業所閉鎖や資源統合にともない172資源となった。	産業振興室
具体的施策② 農産物の生産量増加と地産地消の推進											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	集落営農組織数	組織	5	5	5				6	R12に10組織を目指しており、令和6年度末までに策定する地域計画により、設立する方向性を打ち出した集落に対して、設立に向けた支援を実施してい	産業振興室
2	有害鳥獣による農作物被害額	千円	4,349	2,341	R5.5/19で県の照会				3,500	有害鳥獣防除対策に関する啓発の結果、各集落及び農家の被害に対する意識が向上したため、報告の件数が伸びたことにより被害実績額が上昇し	産業振興室
具体的施策③ 身近に農業や花き・植木の魅力に触れる機会の提供											
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	担当室
1	市民農園利用者数	人	528	551	483				700	高齢化や体調等により、貸農園の維持管理が困難になり閉園する農園があったため未達成	産業振興室
2	「農」に関する講習会等参加者数	人	1,377	840	662				950	委託事業の見直しにより、受託先が受け入れられる学校数が減少したため	産業振興室



具体的施策④ 起業家や事業者への支援強化										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	起業した事業者数	件	36	26	46				-	商工会議所での創業支援等事業での起業家数が大幅に増加した。	産業振興室
2	1店当たり年間商品販売額	百万円	186	186	186				-	実績は経済センサス活動調査(令和3年度に実施)による把握となり、当該調査結果が未公表のため令和4年度は現状地を実績とした。調査結果が公表され次第、実績値を更新する。	産業振興室
具体的施策⑤ 働く意欲を持つすべての人に対する就労支援										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	高齢者の労働力率(国勢調査)	%	18.3	18.3	23.5				-	企業の雇用年齢の引き上げなど高齢者が働きやすい環境が整備されてきたことや経済的な理由、社会参加への機運が高まったことが増加につながったと推察する。	産業振興室
2	「いきいきと働くことができている」と回答した市民の割合(市労働実態調査)	%	新規	-	-				-	次回の労働実態調査が令和6年度に実施予定のため、数値は空欄とする。	産業振興室
3	宝塚市シルバー人材センター会員数	人	905	898	922				923	入会者数は令和3年度ほど伸びなかったものの、年間の退会者数が少なかったこともあり、昨年度より会員数は増加した。	産業振興室
基本的方向(2) 多様な文化政策の展開										担当室	
具体的施策① 文化芸術活動等の振興										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	「文化芸術活動によく親しんでいる」と回答した市民の割合(市民アンケート)	%	24.5	7.6	-				30.0	市民アンケート調査の実施年度ではない。次回R5に実施予定。	宝のまち創造室
2	協働による文化芸術関連事業数	事業	142	96	138				164	コロナ禍からの回復により文化芸術活動も再開傾向にあり、事業数の増加につながった。	宝のまち創造室
3	市HPの文化芸術関連ページのアクセス数	件	66,809	41,054	36,015				70,000	文化芸術センターの本格稼働により、市のセンター紹介ページ及び新型コロナからの回復により施設の利用制限に関するページのアクセス数が減少した。一方で、指定管理者のホームページアクセス数は増加傾向にある。	宝のまち創造室
具体的施策② 文化財や歴史資料の公開や情報の発信										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	歴史民俗資料館の入館者数	人	9,862	5,591	9,599				基準値以上	コロナ禍不安感が薄らぐ中、資料館見学が回復基調である。特に旧東家住宅(西谷地区)は、宝塚自然の家の再開に伴い、入館者が増加した。	生涯学習室
2	本市の郷土資料や文化財に係る資料展示開催回数(企画展)	回	13	13	13				13	郷土意識の醸成につながる文化財等情報発信に努めた。一定資料展示、一般公開など開催回数を確保し、閲覧、公開、啓発活動などに供した点を評価する。	生涯学習室
3	デジタルアーカイブ※の閲覧回数	回	新規	87,842	236,557				基準値以上	令和4年度は通年での総回数であり、月毎推計では閲覧数の低下がみられる。アーカイブサイトが定着する中で、閲覧頻度が減少したと考える。コンテンツの更新や活用啓発を行った。	生涯学習室
基本的方向(3) 観光集客の推進										担当室	
具体的施策① 宝塚の魅力を生かした誘客事業の展開										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	観光入込客数	千人	11,789	8,627	10,149				11,964	国や県、市の施策により観光需要は回復傾向にあるが、コロナ禍の影響は未だ続いている。	宝のまち創造室
2	外国人観光客数	人	16,265	374	2,596				17,277	新型コロナウイルス感染症による海外からの入国制限により減少した。なお、基準値はコロナ禍以前の数値を基準としたものである。	宝のまち創造室
3	新規観光コンテンツ開発数	コンテンツ	新規	1	4				5	前年度未実施の2コンテンツと令和4年度新たに採択した2コンテンツの計4コンテンツを実施した。	宝のまち創造室
基本的方向(4) 北部地域のまちづくり										担当室	
具体的施策① 北部地域の交流人口の増加、定住促進、公共交通の再編										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	北部地域の空き家活用件数	件/年	0	0	0				1	地域内には空き家が複数あることは確認できているが、実際に貸せる住宅は少ない。その内3軒の住宅について移住希望者を対象とした見学ツアーを実施したが、契約には至っていない。	産業振興室 (北部地域調整担当)
2	移住相談窓口相談件数	件/年	0	8	20				30	WEBサイトやチラシによる地域内外への情報発信の効果により、相談件数が昨年度より増加した。	産業振興室 (北部地域調整担当)
3	公共交通サービス提供率(人口比)	%	新規	69.8	55				基準値以上	R4に「宝塚市地域公共交通計画」を策定するにあたり数値の見直しを図った。アンケート結果から、バス停への移動が困難な人は除外することで、より現実的な値とした。	建設室

具体的施策② 農産物の生産量増加と地産地消の推進(再掲)										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	集落営農組織数	組織	5	5	5				6	R12に10組織を目指しており、令和6年度末までに策定する地域計画により、設立する方向性を打ち出した集落に対して、設立に向けた支援を実施している。	産業振興室
2	有害鳥獣による農作物被害額	千円	4,349	2,341	R5.5/19で県の照会				3,500	有害鳥獣防除対策に関する啓発の結果、各集落及び農家の被害に対する意識が向上したため、報告の件数が伸びたことにより被害実績額が上昇している。	産業振興室
具体的施策③ 身近に農業や花き・植木の魅力に触れる機会の提供(再掲)										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	市民農園利用者数	人	528	551	483				700	高齢化や体調等により、貸農園の維持管理が困難になり閉園する農園があったため未達成	産業振興室
2	「農」に関する講習会等参加者数	人	1,377	840	662				950	委託事業の見直しにより、受託先が受け入れられる学校数が減少したため	産業振興室
具体的施策④ 自然体験活動等の学習機会の提供										担当室	
NO.	KPI	単位	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R7年度)	指標の達成状況とその理由	
1	宝塚自然の家利用者数	人	6,403	5,213	11,267				10,000	令和4年4月から指定管理者制度を導入し再開所を果たした。利用者数は集客目標としていた1万人を超えた。開所日数の増加、活動コンテンツの運用等が要因と考えられる。	生涯学習室
2	宝塚自然の家における事業プログラム等実施回数	回	52	27	68				65	指定管理者による活動コンテンツの企画実施や多様な市民団体との連携やボランティアの参加の結果、実施回数の増加につながった。	生涯学習室

<評価>

自己評価(指標、KPIの達成状況を踏まえたうえで評価してください)	
【基本目標の実現に効果があった取組(5つ程度)とその成果】	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が収束してきたため、令和4年度の実績は多くの取組で上向きになる見込みである。特に観光については、速報値では観光入込客数が10,000千人をこえる想定であり、観光客がもどってきている。※詳細な数値は10月頃に県から公表される見込みである。</p> <p>市内各施設の利用客数も順調に伸びており、自然体験活動の学習機会や文化財、歴史的資料の公開・情報発信については、一定の成果があったものと思われる。デジタルアーカイブについても閲覧数が確保できているため、今後もコンテンツのアップデートなどを行う必要がある。</p>
【今後の課題と改善策】	<p>観光については、戻った人流を市内で回遊することへつなげる取り組みが必要である。新規開拓コンテンツも順調に増えており、今後市政70周年、大阪・関西万博に向けた検討を進める。</p> <p>公共交通サービスについては、バスの減便など、事業者に頼る公共交通サービスの在り方が時代に見合わなくなってきている。事業者や地域とともに地域ごとの課題に向き合い、新しい手法も見据えて検討する。</p> <p>文化芸術のうち、文化芸術センター関連のホームページアクセス数については、コロナによる利用制限等へのアクセスが減り、数値を大きく減らしている。HPの閲覧数で同センターへの興味を測るのであれば、情報収集だけではなく仕掛けを検討する必要がある。</p>

外部評価
令和5年度外部評価対象外